

平成20(2008)年8月16日第100号

学校だより

先週の休憩時間は、休み明け第1週の8月2日(土)とは大違いで、子どもたちは楽しそうに？飛び跳ねながらトイレに行ったり教室に戻ったり。廊下を歩いているつもりでも、いつの間にかスキップになってしまい、後ろにいる人もスキップで続いでいきます。まるでペンギンの行列を見ているかのような幼稚園や低学年のかわいい子どもたちでした。

でも、廊下を走ってはいけません。今週は、忘れかけている「きまり」

を、学級活動の時間で確認してから授業に入り、落ち着いた一日を送ってほしいと思います。



「千年の釘にいどむ」

私は歴史が好きで、毎年、夏には京都・奈良・滋賀方面に足を運んでいました。4年前に立ち寄った奈良県の法隆寺は国内の世界遺産第1号。今から約1400年前に建立(こんりゅう)された世界で一番古い木造建築です。その法隆寺や少し後に建てられた薬師寺には、和釘(わくぎ)が使われています。驚いたことに、この釘は錆(さ)びることなく千年以上も経っており、現在、私たちが使う釘とは形や長さが違い、鉄の成分も異なるそうです。

小学校5年生国語科に、「千年の釘にいどむ」という教材があります。これは、四国の鍛冶師、白鷹幸伯(しらたか ゆきのり)さんが、古代の釘を再現する中で解明していった、当時の釘の見事さについて



「千年もつ釘」と言われる白鷹さんが作った30センチ以上ある和釘

ヒューストン日本語補習校

Japanese Educational Institute of Houston

14925 Memorial Drive, Bldg A, Suite 130, Houston, Texas 77079

Tel. 281-531-6743 / Fax. 281-531-6730 (事務局 火~金曜日)

Tel. / Fax. 713-973-0659 (職員室 土曜日のみ)

E-mail: jlssh@jeihouston.org Home Page: www.jeihouston.org

説明しながら、釘づくりにいどむ職人の心意気を描いた文章です。

8月9日(土)の1校時は小5A、2校時は小5Bで、この「千年の釘にいどむ」の授業を行いました。

小学部5年生担任は、この教材を指導するにあたり、導入部分で、日本から白鷹さんが作った「千年もつ釘」を取り寄せて、実際に子どもたちに触れさせていました。



“百聞は一見に如かず”、薬師寺再建用 白鳳型和釘写真ではなく本物を見て、実物に触れさせることで、教科書の内容理解がぐっと高まったはずです。

「小5の子どもたちにとって、よくわかる授業になればいいなあ。予定どおり進まなければ星野先生や小松先生に迷惑がかかるなあ。」と私に思っていたが、そんな私の心配をよそに、5年生の子どもたちはどんどん発表しました。古代の釘、古代の職人の技のすばらしさ、白鷹さんの釘づくりの工夫と努力、白鷹さんの釘づくりにかける思いや願いを読み取ったことと思います。おかげで、時間内に予定の内容を教え終えることができました。

限られた時間しかない補習校の授業では、教員に「指導内容を精選することが大切だ。」と私は言い続けてきました。私がこの授業をするにあたって、(指導項目がたくさんあるために)「指導内容を精選する。」というより、「指導内容を厳選しなければならない。」と強く感じました。雑多なことをやっている暇はなく、基礎的な事柄を精一杯押さえ、教え込もうと思ったわけです。

そして、授業で最も大事なこと……それは授業が『よくわかること』です。難しいことを易しく教え理解させることをいつも頭の片隅に置いておかなければなりません。

歴史や文化に興味を持ち始めるこの時期の子どもたちにとって、「千年の釘にいどむ」白鷹さんの職人の技はどのように映ったのでしょうか。小5のみなさんには、この教材をきっかけに、日本の伝統や文化、歴史、地理などに興味を持ち、新たな読書の世界をさらに広げていってほしいと願っています。

補習校の歴史(3)

ヒューストン日本語補習校開校時に借用教室として使っていたサウスメインバプティストチャーチは、とても大きな教会です。教会の側面にあるステンドグラスには、その精巧さと美しさに目を奪われ、2階にあるパイプオルガンからは、その歴史を感じ取ることができました。



円形の窓にはステンドグラスが施され、その下方にパイプオルガンが置かれていました。

1973年12月までお借りしたこの教会には、今も日本人の小さな子どもたちがお世話になったり、大人がESLのクラスで学習したりしていると聞きました。

1974年1月5日からタロウウッドバプティストチャーチ (Tallowood Baptist Church, 555 Tallowood : Zip77024)

に場所を移しました。その当時、少しずつ増え始めた日本人の多くは、ダウンタウンの西に住んでいたということ



と、教会関係者と親しい方がいらっしゃったということが大きな理由でした。教会の周辺は何もなく、原っぱだったということを知りました。

このころは、学齢児童生徒がいるにもかかわらず、補習校への関心度がそう高くなかったので、通わせていなかった家庭が多かったそうです。そこで、もっと補習校を知ってもらい、通ってもらうために広報誌を発行することになりました。岩佐さんは、家で奥様に手伝ってもらいながら学校ニュースという形で広報誌を毎月発行していきました。

児童生徒が増え始め、10月には学期途中ながら学級編成を行い、3クラス増設され、先生も増やし、中学部2年生・3年生のみが複式学級となりました。

土曜日の教会は、早朝から日本語が飛び交い、元気な日本人の子どもたちがワイワイガヤガヤ。きつとにぎやかだったに違いありません。

漢字検定について

6月に実施した第1回漢字検定の可否結果を個人に通知するとともに、代表4名を放送で表彰しました。合格者のみなさん、おめでとうございます。残念ながら、合格点に達しなかった人は、あと一踏ん張り。第2回検定で再挑戦してください。ヒューストンの生活に慣れて来た人も挑戦してください。

来週(8/23)は休校です ～新三水会センターが開館します～

8月25日(月)から現地校が始まります。借用校舎の Westchester Academy For International Studies では、教員が準備のために教室を整備するため、来週は休校になります。

8月17日(日)に三水会センターが移転しますので、22日(金)まで休館です。8月23日(土)から新三水会センターが開館します。

◆パトロール当番予定表 8月30日◆

～よろしくお願ひします～

	学年	順位	児童生徒氏名
★AM1	リーダー	高	18 森島 仁美
	2		19 守屋 朋恵
	3	幼	1 大原 希海
	4		2 武正 曆
	5		3 村上 葉月
	6	4 野澤 沙枝子	
★PM1	リーダー		5 ウィリアム 望
	2		6 タグラス デイラン
	3		7 ゴールディング ライオン 翔
	4		8 室井 康利
	5		9 山本 あにか
	6		10 テイトモア 春守

<転入>

金子 邦香さん(幼月) 金子 元君(小2B)
酒井 将之君(小4B) 酒井 牧子さん(小6B)
わからないことがあったらクラスの人や先生にたずねてください。優しく教えてくれますよ。これから一緒に学習していきましょう。どうぞ、よろしくお願ひします。

<転出>

阿部 青空さん(幼星) 久田 龍志君(小1B)
アバンパット スチュワート君(小1B)
アバンパット キャメロン君(小3A)
大塚 菜央さん(小5A) 大塚 淳平君(中1)
たくさんのお友だちとお別れです。他の補習校や日本に戻っても、ヒューストン日本語補習校で一緒に学んだこと、遊んだことを忘れないでくださいね。お元気で、さようなら。